



草

春から初夏にかけては、さまざまな草本も主な食べ物となる。樹木の新芽と同じく、開葉直後の草本を好むが、樹木の葉に比べるとやわらかいため、食べ物として利用する期間は長い。特に、多肉質の高茎草本（シンウドやフキなど）やテンナンショウ、ササ類の新芽（ササノコ）のなどを好んで食べる（佐藤嘉宏）



高山植物

標高が高くなるにともない、植物の開葉は遅くなる。そのため、クマは季節が進むなかで、開葉直後の葉を求め、開葉を追いかけるように標高を上げていく。そして、7月に高山に達した後は、ところどころに存在する雪渓や雪田周辺の芽吹いた直後の草本を食べる。一方、夏の終わりには、ブナやミズナラが生育する標高の低い場所に移動する（澤井俊彦）